

令和2年度(2020年度)公共事業再評価調書

基準年月日 令和2年8月1日

Table with multiple sections: I. 基本事項 (基準日時時点), II. 公共事業評価経過, III. 事業採択前の状況, IV. 事業の実施状況. Includes details on project goals, costs, progress, and evaluation results.

V 評価							
1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 本事業は、室蘭市中島地区などの市街地の浸水被害を防止するためのもの。 ● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。 						
	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。</td> </tr> </table>	a	a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。		c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。		
a	a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。						
	c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。						
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題 <ul style="list-style-type: none"> ● 沿川に樹木等が植樹され、市街地における緑豊かな空間が創出されている区間については、自然環境を保全するため、移植等により工事終了後も沿川に存置している。 ● 魚類が生息できる水深を確保するため、低々水路を設けている。 ● 植生の早期回復を図るため、護岸などに現地採取の表土による覆土を実施する。 ※ 直近の評価以降の状況変化はない。						
	(2) 事業推進に対する住民の動向 <ul style="list-style-type: none"> ● 室蘭市から事業の早期完成に向けての要望が出されている。 						
	(3) その他の課題 <ul style="list-style-type: none"> ● 特になし 						
3. 事業達成の見込み	今後の事業実施にあたっては、特に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。						
	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b：課題はあるものの達成は可能である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。</td> </tr> </table>	a	a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。		b：課題はあるものの達成は可能である。		c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。
a	a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。						
	b：課題はあるものの達成は可能である。						
	c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。						
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和8年度（2026年度）の完成を目指し、事業継続する。						
	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>a：継続 b：終了 c：休止 d：中止</td> </tr> </table>	a	a：継続 b：終了 c：休止 d：中止				
	a	a：継続 b：終了 c：休止 d：中止					
<table border="1"> <tr> <td>事業期間の変更の有無</td> <td>無</td> <td>事業費の変更の有無</td> <td>有</td> <td>事業内容変更の有無</td> <td>目的・規模等に係る変更 無</td> <td>左記以外の変更 無</td> </tr> </table>	事業期間の変更の有無	無	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無	左記以外の変更 無
事業期間の変更の有無	無	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無	左記以外の変更 無	
VI 備考							
1. 評価履歴	再評価： H27年度実施 評価結果： 継続（変更なし） B/C：30.11						
2. その他の取組事項	<ul style="list-style-type: none"> ● H7年（1995年）に、河川本来の自然環境の保全・創出や周辺環境との調和を図りつつ地域整備と一体となって良好な水辺空間の形成を図る「ふるさとの川整備事業」の認定を受け、H14年（2002年）までに計画区間（富士橋～杜下橋まで）の整備を完了。 ● H21年（2009年）より、市民団体、河川管理者、教育関係者等が一体となって地域の良好な水辺における環境学習・体験活動を展開する「子どもの水辺」に登録し、「環境学習体験フェスタ」等のイベントを開催。 ● 環境美化活動、植栽の実施。（むろらんあやめ会、NPO法人河川環境センター知利別川を愛する会） 						

補足資料

VII 事業計画変更						（単位：百万円）						
事業期間	再評価 又は当初	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)
								事業	事前評価	H3 (1991)	H3 (1991)	H19 (2007)
変更①	1回目		H3 (1991)	H17 (2005)	H25 (2013)	14,000	6,300					
変更②	2回目			H22 (2010)	H28 (2016)	14,700	6,615					
変更③	3回目			H27 (2015)	H38 (2026)	15,330	6,899					
変更④				H30 (2018)	H38 (2026)	16,170	7,277					
変更⑤	4回目			R2 (2020)	R8 (2026)	16,309	7,339	350	15,299	94%		
変更⑥												
変更⑦												
変更⑧												
変更⑨												
変更⑩						29						
変更理由・内容		変更①：事業費の変更 補償物件数の精査による。 事業期間の延伸 用地補償の処理に時間を要したため。 変更②：事業費の変更 軟弱地盤による橋梁の基礎形式（直接基礎→杭基礎）の変更などによる。 事業期間の延伸 補償物件（住宅等）の処理に時間を要していることなどによる。 変更③：事業費の変更 宅地化に伴う橋梁工等の仮設費用の増などによる。 事業期間の延伸 橋梁架換に伴う関係機関協議に時間を要したことのほか、残事業費を精査したことなどによる。 変更④：事業費の変更 落差工の構造形式を変更したこと、掘削残土の運搬距離の増による。 変更⑤：事業費の変更 資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による。										

